



君の未来を 考えるセミナー



「新しい職業」を知り将来の選択肢を広げる

東進で憧れの志望校合格を果たした多くの先輩たちの共通項——それは、将来について考え、漠然とした自分の夢を「志」へと高めていたことです。自分や社会の未来を考えながら、「将来こんなことを成し遂げたい」という具体的な将来像を持つことで、そこから「こんなことを学びたい」「この大学 / 学部に行きたい」という気持ちが高まり、努力を続ける原動力となります。

君の未来を考えるセミナーは、デジタル時代を

生きていく中で今までになかった価値を生み出している先生の特別講義。デジタル技術進歩を担う仕事、進化する技術を駆使して世界を豊かにする仕事、デジタル技術の発展で新たに生まれる課題を解決する仕事……。新分野を切り拓く先生方の知見に触れ、「自分の生きる未来はどうなるか?」「将来どうありたいのか?」、そして「何のために勉強するのか?」、そんな疑問の答えを見つけに行きましょう!

第36回

講演タイトル

自らを改善する AI と共に、 僕たちはどう生きるか — 学ぶ意味、働く意味、未来をつくる力

株式会社ディー・エヌ・エー
AI ネイティブ推進室 室長

とうやま たくや

陶山 拓也 先生

お申し込みは
こちら

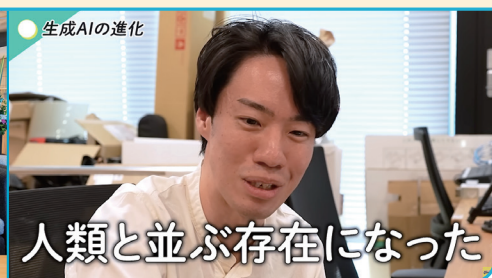
実施
概要

- 対 象 ▶ 高3生・高2生・高1生・高0生※とそこそご父母
受 講 料 ▶ 無料招待
受 講 方 法 ▶ Zoom にてオンラインリアルタイム開催

皆さんからの質問にもお答えします!!



※高0生：高校生レベルの学力を持った中学生



東進ハイスクール

東進衛星予備校

WASEDAJUKU

早稲田塾

自らを改善するAIと共に、僕たちはどう生きるか — 学ぶ意味、働く意味、未来をつくる力

先生からのメッセージ

高校生・中学生の皆さんは、受験勉強やエンターテインメントを通じて、私が同い年だった頃よりもAIを身近に感じているかもしれません。ChatGPTは一生かかっても追いつけないほど膨大な言葉を学んでいるがゆえ、どんな問いにも巧みに答えます。こうした新世代のIntelligence(知能)は、それぞれ違う方法で学び、言葉や判断を扱います。ただし、人のように世界を見て経験しているわけではないため、もっともらしく間違えることもあります。まさに、「暗闇の中の言葉の達人」です。

しかし、そのAIが次世代のAIの研究開発を助け、より賢くなったAIがさらに次を改善する「再帰的自己改善(RSI)」が現在進行しています。学習する主体が、自分たちの学び方まで速くしていく。この循環は、AIが文章や画像、製品をつくるだけでなく、調査、設計、実行、検証を担い、ひとに届けるまでを実行します。経済の基本動作である「生産」と「取引」の両方が変わろうとしているのです。

そのため、最先端の研究者の間でも、この進化が病気や貧困の解決を加速するという期待と、人間の理解や制御を追い越すという警告が交わされています。そんな今、私たちは何を学び、どう働き、どんな未来をつくれればよいのでしょうか。

講演では、DeNAでAIを仕事や組織に組み込む私の経験と、最先端の楽観・悲観を行き来しながら、受験勉強の意味、これから身につけるべき力、進路とキャリアを考えます。私自身も、学び続ける一職業人として、そして一人の父親として、皆さんと一緒に、「僕たちはどう生きるか」を考える時間にします。

▶ 講義後は、皆さんからの質問にも答えていきます。



株式会社ディー・エヌ・エー
AIネイティブ推進室 室長

とうやま たくや
陶山 拓也先生

福島県出身。福島県立 福島高校卒。東北大学経済学部卒。学生時代、身近な世界に息苦しさを感じ、インターネットの中に新しい居場所と可能性を見つける。2019年にDeNAへ新卒入社。小説投稿サービスのデータ分析・プロダクトマネジメント、新卒採用、YouTube「事業家のDNA」の立ち上げ、ブロックチェーンを活用した新規事業開発を経験。その後、AI恋愛アプリ「fromm」の事業責任者として、構想から開発・運営までを率いる。現在はAIネイティブ推進室 室長として、全社の仕事や組織をAIネイティブに変える取り組みを推進。データ、採用、Web3、AIと領域を越えてきたキャリアの根にあるのは、その時々への問いや好奇心を起点に、まず試し、学びながら次の道をつくる姿勢。変化の大きい時代に、自分の可能性をどう広げるかを実践し続けている。

君の未来を考えるセミナー

これまでの参加者の声

職業をはじめいろいろな変化が起きることをとても大変そうだと感じていたが、今回のセミナーを受講して前向きに思えた。

Q 東京都 高2生

論文の中で感じ方を微分方程式に落とし込んだところや、立場により評価が異なる話をしてくれたところが、探究の参考にもなるなど印象的に感じました。

Q 徳島県 高3生

エンジニア＝数学や理科に特化ではなく、順序立てて思考するうえで全ての科目が必要ということを学びました。

Q 奈良県 高3生

鉄道の混雑具合などにも数学が使われていることが面白く、人間の心理と数学の関係性もとても興味深かったです。

Q 福井県 高2生の保護者

目的や意義を明確にすることで、やるべき手段が見えてくる事を学んだ。

Q 神奈川県 高1生

セミナーで先生のお話を聞いて、少しでも興味を持ったことには失敗を恐れずに挑戦してみようと思うようになりました。

Q 群馬県 高1生